

JA 営農情報

№336 令和5年 9月号

極早生品種は、もうすぐ稲刈りが始まります。今のうちに機械の清掃・点検を済ませて、万全の状態で作業を行いましょう。

稲刈後の作業は慎重に！

■乾燥

刈取直後の粳は水分量が高く熱も持っており、このままの状態では長時間放置すると発酵米となるため、**全量を速やかに**乾燥機へ張り込み、最終の張込後2～3時間は風乾しましょう。

その後、温度をかけてしっかり乾かしますが、急激な乾燥は胴割（右上写真点線部）の原因になるので、1時間あたり0.8%の乾燥を上限にしてください。時間に余裕があれば、2段乾燥がおすすめです。（詳しくは栽培管理べんり帳をご確認ください。）



目標水分量（目安）	うるち玄米	・・・	14.5～15.0%
	もち玄米	・・・	13.0～13.5%

乾燥終了後すぐに粳すりをすると肌ずれを起こしやすいので、十分に冷ましてから粳すり作業に入りましょう。

■粳すり

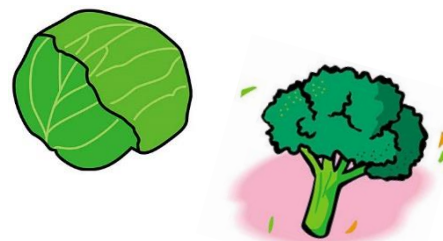
乾燥が終わったら粳すり作業に入りますが、機械のロール幅が適正でないと肌ずれや胴割の原因となります。粳すり機は機械によって仕様や設定等が異なるため、細かい調整は説明書を確認するか購入店又はメーカー等に相談してください。

また、昨年使用後に清掃を行っていたとしても、作業前には再度清掃と消耗品（Vベルト、ゴムロール等）の点検をしましょう。

長い期間かけて育てたお米を稲刈り～粳すりの作業で失敗して等級を落としてしまわないように、余裕を持って作業をするように心がけてください。



秋冬野菜の定植



9月に入り、キャベツやブロッコリーなどの秋冬野菜が定植の適期を迎えますが、この時期はまだまだ気温が高く害虫の活動が盛んな時期でもあるため注意しましょう。

生育初期に被害が多い害虫としてハイマダラノメイガ（シンクイムシ：右写真）が挙げられます。新芽を好んで食害し、被害株は生長が著しく遅れたり最悪枯れたりするため、防虫ネット等で予防しましょう。



また、あぶらな科野菜は根こぶ病が発生しやすいです。主な原因として連作があるので、最低2年はあぶらな科野菜を栽培していない場所を選びましょう。

病害虫は発生前の予防が重要ですので、必要に応じて薬剤散布も検討してください。

☆JA茨木市からのご案内☆

●みしま館へ出荷する農産物を営農経済センターに持ち込むことが可能になりました。
ご都合や出荷状況に合わせてぜひご活用ください。
詳しくは営農経済センター又はみしま館(TEL：645-7100)へお問い合わせください。

●現在、営農経済センターにて乾燥糶摺り施設の利用申込を受付しております。
ご利用の際は必ず事前にご連絡をお願いします。 *TEL：641-9050
※ご利用はJA茨木市の組合員に限ります。

《各種相談日のお知らせ》

	法 律 相 談 隔月第2木曜日	税 務 相 談 隔月第4金曜日	住宅ローン・資産相談 毎月第3土曜日	介 護 相 談 随 時 受 付
9月	14日	—	16日	介護に関する 無料相談受付 まずはお気軽に お問い合わせ下さい。 <u>介護支援センター</u> <u>TEL：627-7767</u>
10月	—	27日	21日	
11月	9日	—	18日	
【実施場所】 農協会館（JA茨木市 本店）3階 小会議室 【受付時間】 午後1時～午後4時 定員は3名ですので、事前にお問合せください。 （無料でご相談いただけます） <u>ふれあい・福祉課 TEL：627-7768</u>			【実施場所】 JA茨木市 各支店	



ご利用下さい

【テレホンサービス】青果物の市況をお知らせします。 TEL 641-9150
 【営農110番】栽培方法等ご相談ください。 TEL 641-9050